

班活動を基盤とした思考力・表現力の向上を目指して

宮崎市立赤江東中学校 教諭 黒木 優太

1 はじめに

近年の人口減少による「働き手の減少」や、AIによる「チャット GPT」など、これまでの価値観が通用しない時代に差し掛かろうとしている。これらのことは、我々が今のままではいけないことを暗示しているように感じる。これからは人の手では足りないところ(知識)を、AI がカバーしてくれる分、キーワードとなる言葉は「協働」だと考える。「協働」を通して、知識を活用させ問題を解決させる力、未来を切り拓こうとする力が求められる。

今年度は、班活動を基盤として、そこに新聞を活用した取組を行った。

2 本年度の取組

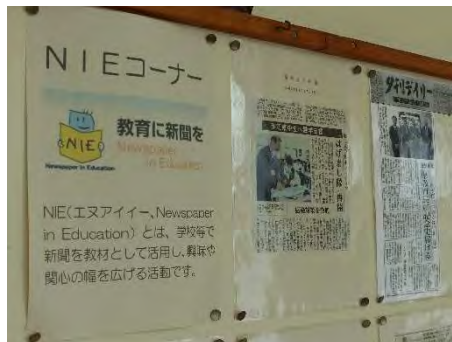
(1) 新聞コーナーの設置

① 目的

- ・ 生徒が目につきやすい場所に新聞コーナーを設置することで、新聞に対する関心をもたせる。
- ・ N I Eコーナーを設置することで、誰もが新聞記事や時事について興味をもつことができるようにする。

② 方法

- ・ 新聞コーナーを図書館及び生徒棟に設置した。
- ・ N I Eコーナーを生徒玄関付近に設置し、定期的に記事を更新した。



③ 取組の実際

- ・ 図書館に設置した新聞コーナーは、昼休み等生徒が閲覧する姿が見られた。
- ・ 玄関付近の設置について、記事を見ながら生徒が談笑する姿が見られた。
- ・ 閲覧している内容について、スポーツ記事等偏りが見られた。
- ・ 生徒だけでなく、教職員も閲覧する姿が見られた。
- ・ 定期的に、見てほしいページを開いておくなど工夫した。



(2) 学級活動における新聞活用

① 目的

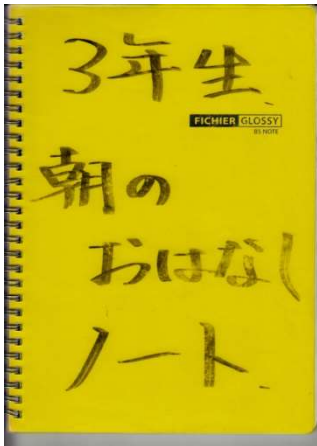
- ・ 学級における「生活班活動」の中に新聞を取り入れることで、更なる学級活動の前進と生徒の知識習得に生かす。

② 方法

- ・ 毎年学級では「生活班活動」を取り入れており、1班5名程度のグループで朝の会や帰りの会、清掃活動などを活性化させるようにしている。毎年、朝の会では「朝のおはなしタイム（スピーチ活動）」を取り入れている。スピーチ活動に新聞を活用した話を取り入れて、生徒の前で一人ずつスピーチする時間を設けた。
- ・ スピーチ内容については自由とし、必ず1分以上（1分以上であれば何分でもよい）のスピーチとなるようルールを設けた。
- ・ おはなしノートとして、1冊のノートを準備して、そのノートを共有して回していく方法とした。

③ 取組の実際

- ・ 「新聞を活用しながら」という条件をつけたことで、自然と新聞を見るようになり、スピーチが終わったあとに、その記事内容を見たり記事について聞いたりする姿が見られた。
- ・ 初めの方こそ、やっと1分に届くような内容であったが、慣れてくるとスピーチの内容も充実し、3分以上のスピーチとなる生徒も見られた。
- ・ 1冊の共有ノートとしたことで、スピーチ内容を自然に見返しながら次の人が内容を考えるようになり、スピーチ内容の復習ノートとしても機能した。
- ・ スピーチの内容等は、学級通信を活用して紹介した。



スピーチ内容の一部

4/9 1:54
 僕がお話しするのには、絵についてです。僕が、絵をかき始めた理由は、父も絵がうまい僕が大のんだ絵をかいてくれていたが、最後に毎回エヘいなものをつけたので、いじらな。自分でかこうと思、たのがはじまり。はじめは何をかいているのかわからないものが多かったですが、小学校4年生ぐらいからうまくなるようになりました。僕は、一度いいと思、た絵に、とても時間をかけるタイプで、僕のスケッチブックの絵に、かいている時間は、平均5.6時間で、9/11ものは、1月中かきつづけたことありま、う。今まで一番時間がかかっている絵は、テラフォーマーズのゴキブリです。とても時間をかけたので、メモがあるしと表は、人でした。自分でもかいていると、すて、さ、ち、あ、る、く、な、り、や、め、え、う、と

3年1組学級通信 ~さわやかなかせ~		今回の言葉 「中総体までまだ29日ある」
さわやかなかせ		5月12日 第6号 文責 黒木 優太
☆学級スローガンと学級目標が決定しました！		
		「一年間を全員で乗り越えられるような目標とスローガンを作ろう！」と言ってから約3週間、班長会や班活動で話し合いを何度も行って、ようやくスローガンと学級目標が決定しました。今回は、スローガンを紹介したいと思います。左に書かれてある「奪取-DASH-~輝く未来をつかみとれ!」です。さあ、毎日をダッシュ!
☆「朝のおはなしタイム」紹介します。 [redacted] です!		
今日の学級通信では、 [redacted] の「朝のおはなし」を紹介したいと思います。どの生徒も非常におもしろいお話で、毎日の朝が楽しくなります。どうぞごゆっくりお読みください。		
<p>僕は、姉弟について話します。僕の姉弟は3人姉弟です。一番上が18歳のはづき。二番目が16歳のなすな。そして一番下が僕です。はづきとなすなは、頭がとてもよく、いつも周りの人から僕と比べられます。なのでいつも、「はづきはできていたのに…」やら「なすなは頭がいいのに…」などとすごく言われます。</p> <p>はづきは、今大学に通っています。けど、受験なしの面接だけで大学に合格するとい</p>		[redacted]

(3) 探究活動における新聞活用

① 目的

- ・ 探究活動において、調べ学習に新聞を活用することで、一部の情報に偏らない、正確な探究活動につなげる。

② 方法

- ・ 探究活動の課題については、自分で課題を見つけ、そのことについて調べ学習を行い、年度末に発表を行う。
- ・ 探究活動は基本的にグループ単位で行うこととした。
- ・ 調べる方法としては、インターネットのみならず、新聞や書籍を活用する。インターネットの情報には誤情報もあることを指導したうえで、調べ学習に取り組ませる。

③ 取組の実際

新聞や書籍で調べるのに時間がかかっている様子であった。

- ・ 複数の情報を組み合わせることに苦慮している様子が見てとれた。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 新聞をいろんな場所に提示したことで、生徒が新聞を目にする機会が増え、生徒の新聞に対する興味関心が高まった。
- ・ なかには必ず図書室に通って新聞を閲覧している生徒が見られるようになった。
- ・ 情報の扱い方について、生徒にとって新たな学習となった。

(2) 課題

- ・ 探究学習において新聞を活用したが、関連する記事を探すのに時間がかかってしまい、インターネット検索との差を生徒が痛感していた。しかしながら、正確な情報を伝えるためには、「時間がかかる」ということも分かり、本当の意味で相手に伝えることの難しさを知ることができた。
- ・ 普段から新聞に触れる機会が少なくなっていることを痛感した。しかしながら、新聞によって得られる知識や情報は新鮮である。今後は、読解力、そして授業改善にもつなげていきたい。